

「Liquid」ご紹介資料



株式会社Liquid



Crime Zero

70億人の本人認証プラットフォーム



ビジョンに共感して頂いた方々

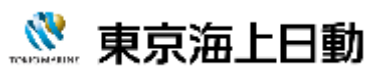
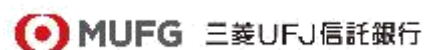
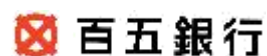
株主様



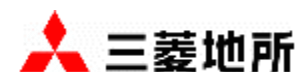
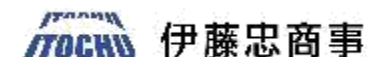
金融系



農林中央金庫



非金融系



dentsu



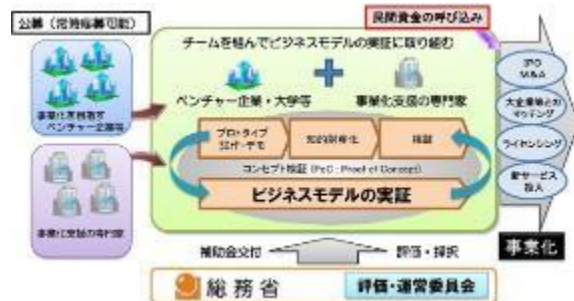
ビジョンに共感して頂いた方々

政府様



総務省

ICTイノベーション創出チャレンジプログラム
【I-Challenge!】採択



内閣府

“Innovation Japan”シリーズにて紹介



経済産業省

第1回IoT Lab Selectionグランプリ受賞



特待生(J-Startup企業)として認定

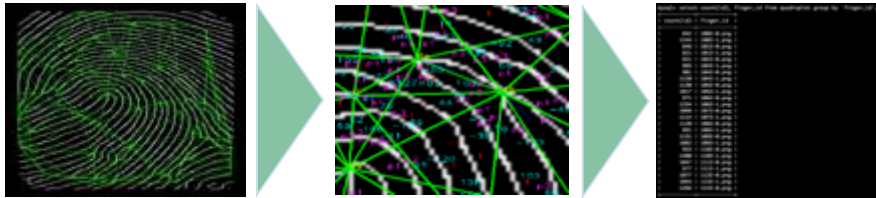


J-Startup



「triplet」等を利用した生体情報のインデックス化

- マニューシャ<特徴点>同士を結んだ三角形<triplet>や四角形<Quadruplet>に情報(角度、長さ、面積等)を与えることにより、各特徴量のインデックス化を実現
- 生体認証データのみでIDを特定可能であり、媒体の制限を受けず、ユーザーを限定しない利用が可能
- 指紋画像で生体情報を管理しない為、生体情報流出リスクも低減



世界初のクラウド型の生体認証・決済システム

- 低コストかつ他システムとの連携容易

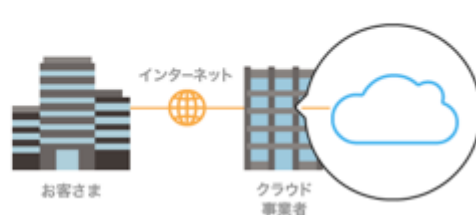
オンプレミス

お客さまで導入/運用



クラウド

インターネットを介しクラウドサービスを利用



インデックス技術をコアにした広範な特許

特徴点の機械学習による指紋認証技術に関連する他特許は無く、国内外で参入障壁を構築

- 2016年8月：国内特許取得完了
- 10月：フィリピン特許取得完了
- 11月：シンガポール特許取得完了
- 2017年10月：米国特許取得完了
- 2017年4月：EU、インドネシア、タイ、ベトナム、スリランカ、中国、韓国、ロシア、ブラジル、イスラエルその他各国へ移行手続中

世界最速クラスの指紋認証を可能にした「LIQUID Engine」

従来の指紋認証技術

逐次検索(総当たり)

	DATA	RESULT
		×
		×
		○

測定不能

Speed

ユーザー数 = 100万人

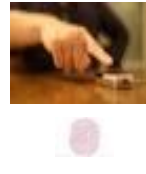



1/1,000,000

FAR

他人受入率

当社の特許指紋認証技術

機械学習インデックス検索+逐次検索

	INDEX/DATA	RESULT
	ID:**** 	—
	ID:**** 	—
	ID:**** 	○

~3秒

1/90,000,000,000

ビジョン実現に向けた取り組み

ハウステンボス

世界初指紋認証決済



イオン銀行

邦銀初指(指紋+静脈)認証本人確認
カードレス・暗証番号レス



ARABAKI ROCK FEST.18

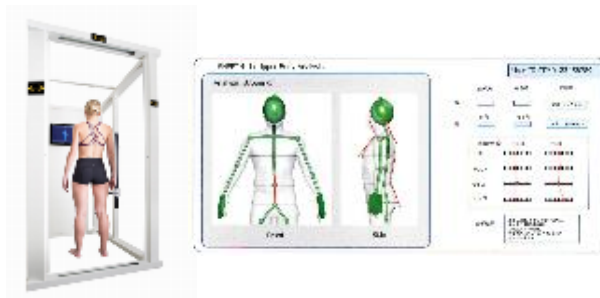
指紋認証本人確認
不正転売ゼロ



非接触指紋登録
特許出願技術

ライザップ・アシックス

3Dボディスキャン
身体の変化・ゆがみ確認・推測



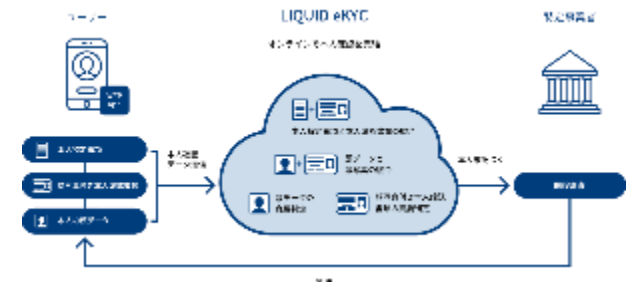
不動産大手・数社

人間判定・行動解析



金融機関大手・数社

オンライン完結本人確認
画像の真贋判定・顔認証



「LIQUID eKYC」ご紹介資料v3.0



株式会社Liquid

※免責事項：本資料の情報は作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。

犯罪による収益の移転防止に関する法律 施行規則の一部改正



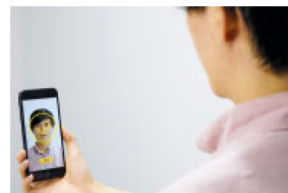
2018年11月30日 新しい本人確認方法 ※任意
2020年04月01日 転送不要郵便強化 ※必須

ネットで口座開設完結 住信SBIネット銀、期間1日に短縮

2018/7/6付 | 日本経済新聞 朝刊

インターネット専門の住信SBIネット銀行は年内にも、国内初となるインターネット上での手続きだけで口座開設ができるサービスを始める。ネット上に自分の顔の動画と、運転免許証などの写真付きの本人確認書類をアップロードすればよい。生体認証技術などを開発するリキッド（東京・千代田）の技術を活用する。

従来は同行から送付されるキャッシュカードを受け取るときに、配達員に本人が本人確認書類を示す必要があり、開設までに1週間程度かかっていた。開設までの期間を1日に短縮できるため、外貨預金などすぐに口座を開きたいという顧客の需要に応えられる。



本人確認のために顔の動画を撮影＝リ

今秋にも施行される犯罪収益移転防止法に合わせ、同行のシステム開発

News Release

各 位



2019年2月15日

トレーダーズホールディングス株式会社
(JASDAQ・コード8704)

トレーダーズ証券において、口座開設時にオンラインで本人確認が完結する『LIQUID eKYC』をFX業界で初めて導入いたします。

当社子会社のトレーダーズインベストメント株式会社（東京都港区、代表取締役 古橋弘光）が資本参加（少額出資）している株式会社Liquid（東京都千代田区、代表取締役 久田康弘）は、「オンラインで本人確認を完結する方法（eKYC）」として『LIQUID eKYC』のサービス提供を開始しておりますが、このたび、当社子会社であるトレーダーズ証券株式会社（以下「トレーダーズ証券」といいます。）は、FX業界で初めて、新規口座開設時にオンライン上で本人確認を完結する方法（eKYC）として、株式会社Liquidの「LIQUID eKYC」を利用したサービスを「みんなのFX」及び「LIGHT FX」において2019年7月（予定）に導入いたします。

ニュースを検索



@nifty ニュース

トップ

国内

海外

経済

芸能・エンタメ

スポーツ

IT

トレンド

雑誌

今日のニュース

ニュース > 経済 > 経済総合 > 記事

クレディセゾン、生体認証のLiquidと提携

いいね! 0

シェア


ツイート

2018年10月02日 14時00分 MONEYzine

クレディセゾンは、生体認証技術のLiquidと、オンラインで完結する本人確認手段の検討を開始する。

現在、クレジットカードを申し込むときには、犯罪収益移転防止法を踏まえて、対面もしくは郵送による本人確認書類の確認手続きが発生する。

今回、クレディセゾンは、本人確認手続きによる顧客の負担を解消するため、生体認証による本人認証技術を有する株式会社Liquidと基本合意書を締結した。Liquidは、画像解析・機械学習を用いた認証技術を用いたオンラインで完結する本人確認サービス（LIQUID eKYC）を提供している。

犯収法 施行規則	内容
第6条第1項 第1号ホ	特定事業者が提供するソフトウェアを使用して、顧客(本人)の容貌(顔)画像と写真付き本人確認書類の画像の送信を受け、確認 
第6条第1項 第1号ヘ	特定事業者が提供するソフトウェアを使用して、顧客(本人)の容貌(顔)画像と写真付き本人確認書類のICチップ情報の送信を受け、確認
第6条第1項 第1号ト(1)	特定事業者が提供するソフトウェアを使用して、本人確認書類(1枚に限り発行されるもの)の画像又は本人確認書類のICチップ情報の送信を受け、他の特定事業者が顧客(本人)の本人特定事項及び本人確認済みであることを確認
第6条第1項 第1号ト(2)	特定事業者が提供するソフトウェアを使用して、本人確認書類(1枚に限り発行されるもの)の画像又は本人確認書類のICチップ情報の送信を受け、顧客(本人)の本人確認済みの預貯金口座に一定額振り込み、顧客から当該振り込みを特定できる情報を送信を受け、確認

「第6条第1項第1号ホ」の要件概要

①	本人確認書類と本人の顔を、加工機能がないソフトウェアの中で、取引時に撮影させ、送信を受ける
②	送付された画像を保存する(本人確認書類・顔画像の保存)
③	本人確認書類に係る不正防止策の実施
③-1	書類の表面に加え、裏・表面を傾けた厚みが分かる画像の撮影
③-2	書類の撮影時にランダムに指定する行為を求めるorこれと同等の効果を有する措置 案-1 ランダムに指定する識別番号を記させた紙と一緒に撮影 案-2 書類の指定位置に指を添えさせて撮影 案-3 指定面を指定方向に回す(「免許証の表面を、下向きに1回転」等。ただし動画の場合。) 案-4 会話を行う(ビデオ通話の場合)
④	顔画像に係る不正防止策として、ランダムに指定する行為を求めるorこれと同等の効果を有する措置 案-1 ランダムに指定する識別番号(本人確認書類撮影時と同様)を記した紙と一緒に撮影 案-2 ランダムに指定するポーズを求める 案-3 指定方向に向く(「右を向いてください」等。ただし動画の場合。) 案-4 指定ワードを発声するなど(動画の場合)

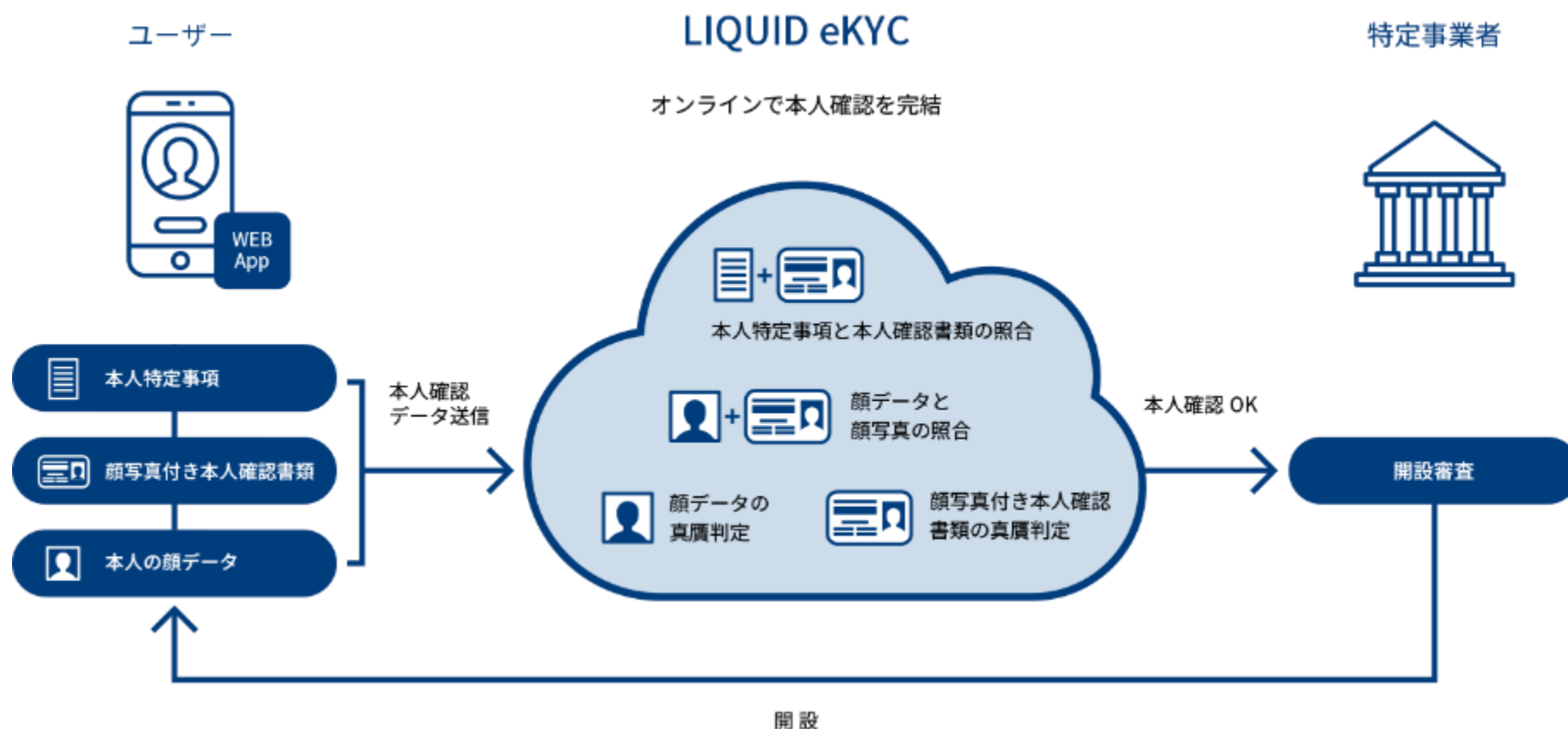
※LIQUID eKYCの適法性の詳細は「犯収法対応表」参照(**NDA締結後開示可能**)

「第6条第1項第1号ホ」を満たす仕組み「LIQUID eKYC」

犯収法・施行規則改正に対応

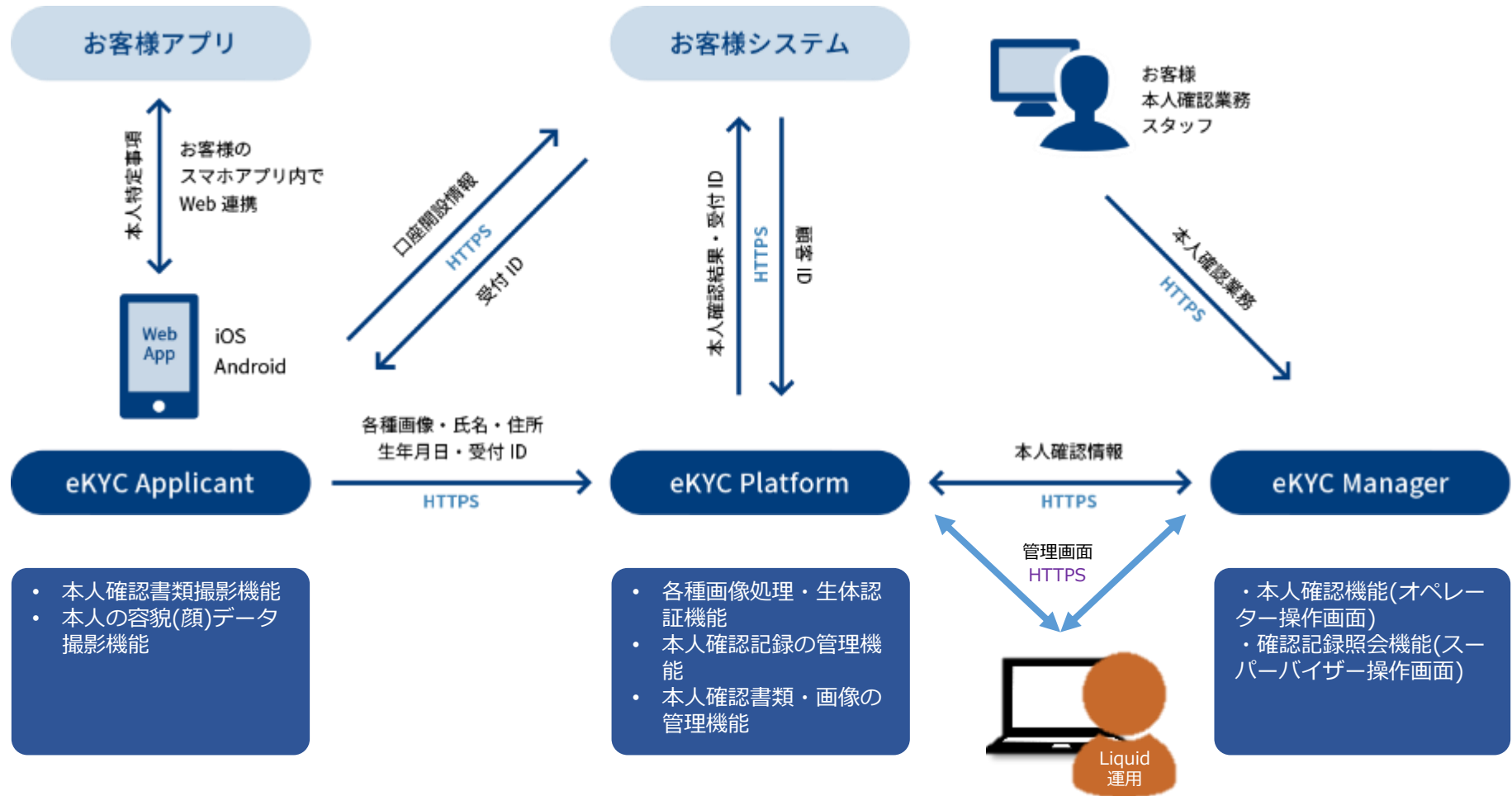


得意の画像処理技術を活かした画像の真贋判定、生体認証事業で培った高い精度の生体認証技術でオンラインで本人確認が完結する仕組みをクラウド(AWS)で低コストで提供



「LIQUID eKYC」 システム構成

eKYC Applicant / eKYC Platform / eKYC Manager



「eKYC Applicant」フロー

表面撮影

- ・片手で操作できるUX
- ・撮影枠内におさまるように撮影



通知が到着するまで画面を握り、
写真が撮れるようにカメラを構え、
免許証が画面の中心に収まるように調整し、
シャッターを押してください。



- ※画像のクオリティチェック
- ※画像の真贋判定

厚み撮影

- ・片手で操作できるUX
- ・撮影枠内におさまるように撮影



写真が撮れるようにカメラを構え、
免許証が画面の中心に収まるように調整し、
シャッターを押してください。



- ※画像のクオリティチェック
- ※画像の真贋判定

裏面撮影

- ・片手で操作できるUX
- ・撮影枠内におさまるように撮影



通知が到着するまで画面を握り、
写真が撮れるようにカメラを構え、
免許証が画面の中心に収まるように調整し、
シャッターを押してください。



- ※画像のクオリティチェック
- ※画像の真贋判定

正面顔撮影

- ・片手で操作できるUX
- ・撮影枠内におさまるように撮影



顔が画面の中心に収まるよう調整し、
シャッターボタンをタップしてください。



- ※画像のクオリティチェック
- ※画像の真贋判定

首振り撮影

- ・片手で操作できるUX
- ・ランダム指示通りの首振り動画を撮影



上下左右のいずれかの方向で顔を動かして、
ランダムに指示された方向の動画を撮影してください。



- ※画像のクオリティチェック
- ※画像の真贋判定

【参考】本人確認書類一覧

	本人確認書類	LIQUID eKYC	有効期間	偽変造防止対策(例)	保有者数
1	運転免許証	○対応	あり	・ ICチップ(鍵：暗証番号) ・ 番号(チェックデジット)	約82百万(H29年末)
2	運転経歴証明書	－未定	なし	・ 番号(チェックデジット)	－
3	在留カード	△対応予定 /2020年	あり	・ ICチップ(鍵：券面情報) ・ 見る角度・傾きによるホログラム変化 ・ 傾きによる色変化 ・ 番号(検索)	約2.5百万(H29年末) ※うち、特別永住者は約 0.3百万(H29年末)
4	特別永住者証明書	－未定	あり		
5	個人番号カード(表面)	△対応予定 /2020年	あり	・ ICチップ(鍵：暗証番号) ・ 傾きによる色変化等	約14百万(2018/3/1)
6	旅券	－未定	あり	・ ICチップ(鍵：券面情報) ※住所なし ・ ブラックライト照合	約30百万(H29年末)
7	身体障害者手帳	－未定	なし		約5.9百万(H28/12/1)
8	精神障害者保健福祉手帳	－未定	あり		
9	療育手帳	－未定	あり		
10	戦傷病者手帳	－未定	なし		－

「eKYC Platform/Manager」仕様一覧



確認項目	氏名	確認内容	手動有無
運転免許証の真贋判定	表面	氏名	公安委員会コードと合っているフォント・幅である
	表面	生年月日	フォント(数字)
	表面	住所	公安委員会コードと合っているフォント・幅である
	表面	有効期限	有効期限内である
	表面	公印	公印がある
	表面	免許の条件等	要配慮個人情報
	表面	免許番号	マスキングする
	表面	桁数	12桁である
	表面	公安委員会コード	上2桁が有効な公安委員会コードである
	表面	チェックディジット	チェックディジットが正しい
	表面	取得年	上3～4桁目有効な取得年である
	表面	顔写真が人間以外(動物・粗い2DCG等)	-
	表面	顔写真が人間以外(精巧な2DCG等)	-
	表面	ランダム性	-
	表面	偽造書類	印刷した人間の顔写真が貼られた偽造免許証でないこと
	表面	偽造書類	顔写真部分のみ加工された偽造免許証でないこと
	表面	偽造書類	印刷した表面全面が貼られた偽造免許証でないこと
	表面	偽造書類	本物同等に偽造された免許証でないこと
	表面	偽造書類	本物同等に偽造(透かし・ICチップあり)された免許証でないこと
	表面	偽造書類	他人名義の本物の免許証でないこと
本人の容貌(顔)の真贋判定	表面	備考	記載事項変更・公印有無
	表面	備考	要配慮個人情報
	表面	マスキングする	-
	表面	ランダム性	-
	表面	偽造書類	印刷した表面全面が貼られた偽造免許証でないこと
	表面	偽造書類	本物同等に偽造された免許証(裏面)でないこと
	表面	偽造書類	本物同等に偽造(透かし・ICチップあり)された免許証(裏面)でないこと
	表面	偽造書類	他人名義の本物の免許証(裏面)でないこと
	表面	偽造書類	他人名義の本物の画像をディスプレイ表示(グレア)された免許証でないこと
	表面	偽造書類	他人名義の本物の画像をディスプレイ表示(ノングレア)された免許証でないこと
	表面	偽造書類	他人名義の本物の画像をディスプレイ表示(ノングレア)された免許証(裏面)でないこと
	表面	偽造書類	他人名義の本物の画像をディスプレイ表示(ノングレア)された免許証(裏面)でないこと
	表面	偽造書類	他人名義の本物の画像をディスプレイ表示(ノングレア)された免許証(裏面)でないこと
	表面	偽造書類	他人名義の本物の画像をディスプレイ表示(ノングレア)された免許証(裏面)でないこと
	表面	偽造書類	他人名義の本物の画像をディスプレイ表示(ノングレア)された免許証(裏面)でないこと
	表面	偽造書類	他人名義の本物の画像をディスプレイ表示(ノングレア)された免許証(裏面)でないこと
	表面	偽造書類	他人名義の本物の画像をディスプレイ表示(ノングレア)された免許証(裏面)でないこと
	表面	偽造書類	他人名義の本物の画像をディスプレイ表示(ノングレア)された免許証(裏面)でないこと
	表面	偽造書類	他人名義の本物の画像をディスプレイ表示(ノングレア)された免許証(裏面)でないこと
	表面	偽造書類	他人名義の本物の画像をディスプレイ表示(ノングレア)された免許証(裏面)でないこと
本確書類の顔写真と本人の容貌(顔)の照合	厚み	0.76mm	紙ではないこと
	厚み	0.76mm	厚紙(0.15～0.3mm)ではないこと
	表面	同一性	表面画像と同一である
	表面	ランダム性	-
	外形	縦53.98mm×横85.60mm	縦横比が正しい
	外形	角丸加工	角丸である
	透かし	マーク	透かしマークがある
	透かし	マーク	ICチップがある
	透かし	マーク	ICチップがある
	透かし	マーク	ICチップがある
	透かし	マーク	ICチップがある
	透かし	マーク	ICチップがある
	透かし	マーク	ICチップがある
	透かし	マーク	ICチップがある
	透かし	マーク	ICチップがある
	透かし	マーク	ICチップがある
	透かし	マーク	ICチップがある
	透かし	マーク	ICチップがある
	透かし	マーク	ICチップがある
	透かし	マーク	ICチップがある
本人特定事項と本確書類の3点チェック	顔写真	人間	顔部分と指紋を区別できること
	顔写真	人間	写真の顔でないこと
	顔写真	人間	ディスプレイ(グレア)で表示された顔でないこと
	顔写真	人間	ディスプレイ(ノングレア)で表示された顔でないこと
	顔写真	人間	模様の顔でないこと
	顔写真	人間	顔が人間以外(動物等・粗い2DCG等)であること
	顔写真	人間	顔が人間以外(精巧な2DCG等)であること
	顔写真	人間	顔が人間以外(精巧な2DCG等)であること
	顔写真	人間	顔が人間以外(精巧な2DCG等)であること
	顔写真	人間	顔が人間以外(精巧な2DCG等)であること
	顔写真	人間	顔が人間以外(精巧な2DCG等)であること
	顔写真	人間	顔が人間以外(精巧な2DCG等)であること
	顔写真	人間	顔が人間以外(精巧な2DCG等)であること
	顔写真	人間	顔が人間以外(精巧な2DCG等)であること
	顔写真	人間	顔が人間以外(精巧な2DCG等)であること
	顔写真	人間	顔が人間以外(精巧な2DCG等)であること
	顔写真	人間	顔が人間以外(精巧な2DCG等)であること
	顔写真	人間	顔が人間以外(精巧な2DCG等)であること
	顔写真	人間	顔が人間以外(精巧な2DCG等)であること
	顔写真	人間	顔が人間以外(精巧な2DCG等)であること
本人特定事項と本確書類の3点チェック	入力内容の整合	氏名	ほぼ完全一致
	入力内容の整合	生年月日	完全一致
	入力内容の整合	住所(表面との一致)	ほぼ完全一致
	入力内容の整合	住所(裏面との一致)	ほぼ完全一致
	入力内容の整合	住所(裏面との一致)	ほぼ完全一致
	入力内容の整合	住所(裏面との一致)	ほぼ完全一致
	入力内容の整合	住所(裏面との一致)	ほぼ完全一致
	入力内容の整合	住所(裏面との一致)	ほぼ完全一致
	入力内容の整合	住所(裏面との一致)	ほぼ完全一致
	入力内容の整合	住所(裏面との一致)	ほぼ完全一致
	入力内容の整合	住所(裏面との一致)	ほぼ完全一致
	入力内容の整合	住所(裏面との一致)	ほぼ完全一致
	入力内容の整合	住所(裏面との一致)	ほぼ完全一致
	入力内容の整合	住所(裏面との一致)	ほぼ完全一致
	入力内容の整合	住所(裏面との一致)	ほぼ完全一致
	入力内容の整合	住所(裏面との一致)	ほぼ完全一致
	入力内容の整合	住所(裏面との一致)	ほぼ完全一致
	入力内容の整合	住所(裏面との一致)	ほぼ完全一致
	入力内容の整合	住所(裏面との一致)	ほぼ完全一致
	入力内容の整合	住所(裏面との一致)	ほぼ完全一致
本人特定事項と本確書類の3点チェック	アクセス元情報	ブラックリスト	ブラックリストと一致しない/IPアドレス、設定言語、端末ID等が変化する
	氏名・生年月日	ブラックリスト	ブラックリストと一致しない
	住所	ブラックリスト	ブラックリストと一致しない
	顔写真	ブラックリスト	反社・金銭リストと一致しない
	顔写真	ブラックリスト	ブラックリストと一致しない
	顔写真	ブラックリスト	ブラックリストと一致しない
	顔写真	ブラックリスト	ブラックリストと一致しない
	顔写真	ブラックリスト	ブラックリストと一致しない
	顔写真	ブラックリスト	ブラックリストと一致しない
	顔写真	ブラックリスト	ブラックリストと一致しない
	顔写真	ブラックリスト	ブラックリストと一致しない
	顔写真	ブラックリスト	ブラックリストと一致しない
	顔写真	ブラックリスト	ブラックリストと一致しない
	顔写真	ブラックリスト	ブラックリストと一致しない
	顔写真	ブラックリスト	ブラックリストと一致しない
	顔写真	ブラックリスト	ブラックリストと一致しない
	顔写真	ブラックリスト	ブラックリストと一致しない
	顔写真	ブラックリスト	ブラックリストと一致しない
	顔写真	ブラックリスト	ブラックリストと一致しない
	顔写真	ブラックリスト	ブラックリストと一致しない
本人特定事項と本確書類の3点チェック	同一顔申請	Webからの転用	同一顔(本人確認書類)が同時に複数口座開設しているかどうか
	同一顔申請	Webからの転用	同一顔(本人確認書類)が同時に複数口座開設しているかどうか
	同一顔申請	Webからの転用	WEBから収集できる本人の容貌(顔)を使って口座開設しているかどうか
	同一顔申請	Webからの転用	WEBから収集できる本人確認書類を使って口座開設しているかどうか
	同一顔申請	Webからの転用	WEBから収集できる本人確認書類を使って口座開設しているかどうか
	同一顔申請	Webからの転用	WEBから収集できる本人確認書類を使って口座開設しているかどうか
	同一顔申請	Webからの転用	WEBから収集できる本人確認書類を使って口座開設しているかどうか
	同一顔申請	Webからの転用	WEBから収集できる本人確認書類を使って口座開設しているかどうか
	同一顔申請	Webからの転用	WEBから収集できる本人確認書類を使って口座開設しているかどうか
	同一顔申請	Webからの転用	WEBから収集できる本人確認書類を使って口座開設しているかどうか
	同一顔申請	Webからの転用	WEBから収集できる本人確認書類を使って口座開設しているかどうか
	同一顔申請	Webからの転用	WEBから収集できる本人確認書類を使って口座開設しているかどうか
	同一顔申請	Webからの転用	WEBから収集できる本人確認書類を使って口座開設しているかどうか
	同一顔申請	Webからの転用	WEBから収集できる本人確認書類を使って口座開設しているかどうか
	同一顔申請	Webからの転用	WEBから収集できる本人確認書類を使って口座開設しているかどうか
	同一顔申請	Webからの転用	WEBから収集できる本人確認書類を使って口座開設しているかどうか
	同一顔申請	Webからの転用	WEBから収集できる本人確認書類を使って口座開設しているかどうか
	同一顔申請	Webからの転用	WEBから収集できる本人確認書類を使って口座開設しているかどうか
	同一顔申請	Webからの転用	WEBから収集できる本人確認書類を使って口座開設しているかどうか
	同一顔申請	Webからの転用	WEBから収集できる本人確認書類を使って口座開設しているかどうか
本人特定事項と本確書類の3点チェック	同一本人確認書類	IPアドレス判定	同一本人確認書類情報による複数口座開設しているかどうか
	同一本人確認書類	IPアドレス判定	同一本人確認書類情報による複数口座開設しているかどうか
	同一本人確認書類	IPアドレス判定	同一本人確認書類情報による複数口座開設しているかどうか
	同一本人確認書類	IPアドレス判定	同一本人確認書類情報による複数口座開設しているかどうか
	同一本人確認書類	IPアドレス判定	同一本人確認書類情報による複数口座開設しているかどうか
	同一本人確認書類	IPアドレス判定	同一本人確認書類情報による複数口座開設しているかどうか
	同一本人確認書類	IPアドレス判定	同一本人確認書類情報による複数口座開設しているかどうか
	同一本人確認書類	IPアドレス判定	同一本人確認書類情報による複数口座開設しているかどうか
	同一本人確認書類	IPアドレス判定	同一本人確認書類情報による複数口座開設しているかどうか
	同一本人確認書類	IPアドレス判定	同一本人確認書類情報による複数口座開設しているかどうか
	同一本人確認書類	IPアドレス判定	同一本人確認書類情報による複数口座開設しているかどうか
	同一本人確認書類	IPアドレス判定	同一本人確認書類情報による複数口座開設しているかどうか
	同一本人確認書類	IPアドレス判定	同一本人確認書類情報による複数口座開設しているかどうか
	同一本人確認書類	IPアドレス判定	同一本人確認書類情報による複数口座開設しているかどうか
	同一本人確認書類	IPアドレス判定	同一本人確認書類情報による複数口座開設しているかどうか
	同一本人確認書類	IPアドレス判定	同一本人確認書類情報による複数口座開設しているかどうか
	同一本人確認書類	IPアドレス判定	同一本人確認書類情報による複数口座開設しているかどうか
	同一本人確認書類	IPアドレス判定	同一本人確認書類情報による複数口座開設しているかどうか
	同一本人確認書類	IPアドレス判定	同一本人確認書類情報による複数口座開設しているかどうか
	同一本人確認書類	IPアドレス判定	同一本人確認書類情報による複数口座開設しているかどうか

○全確認項目：71件

- ・運転免許証の真贋判定
- ・本人の容貌(顔)の真贋判定
- ・本確書類の顔写真と本人の容貌(顔)の照合
- ・本人特定事項と本確書類の3点チェック
- ・ブラックリスト判定
- ・その他不正利用検知

等

○手動確認対象：8件(11%)

- ・公印
- ・マスキング
- ・厚み
- ・角丸
- ・顔CG

等

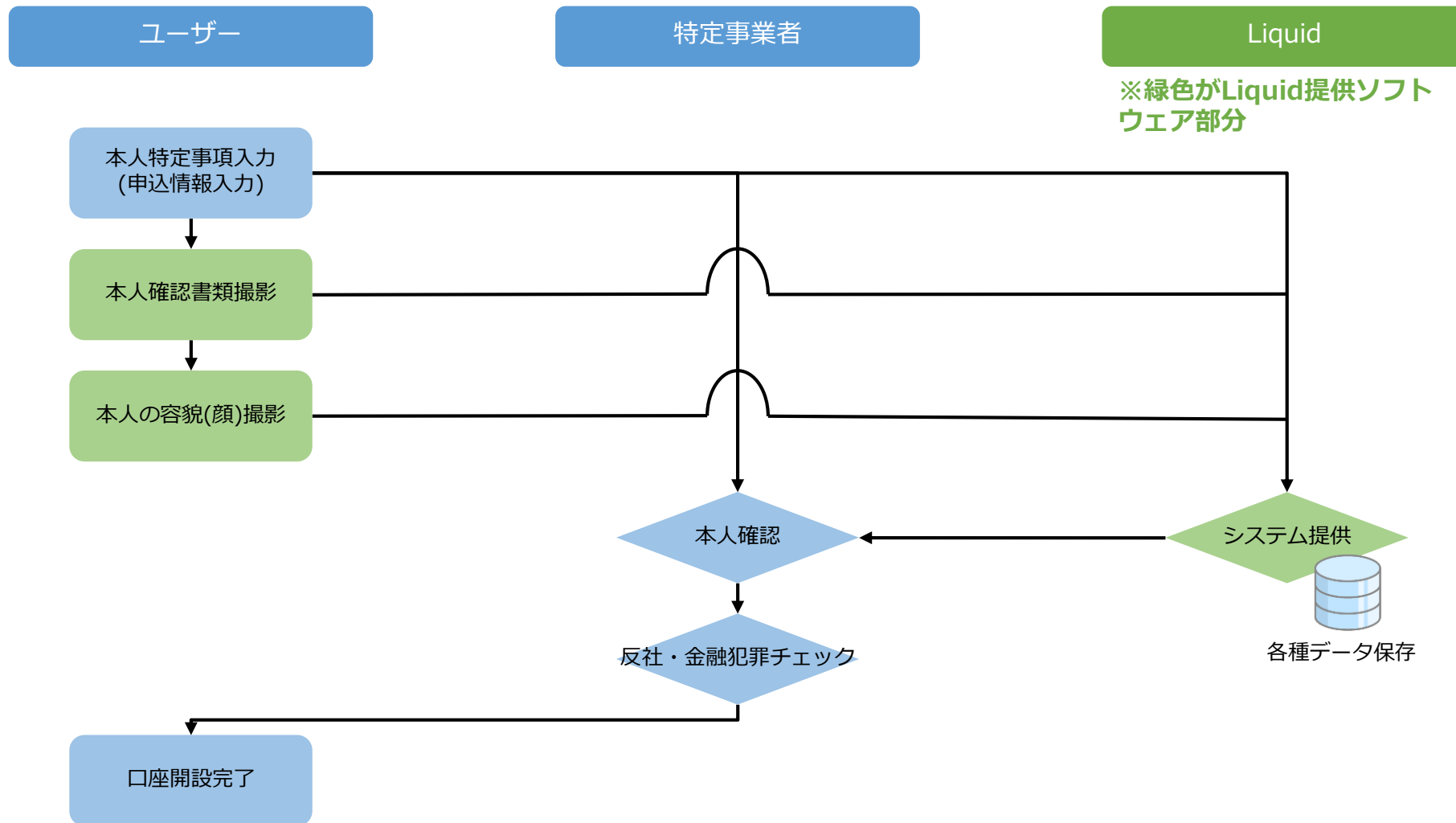
○半自動確認対象：11件(15%)

※OCR、運用次第で自動確認できるもの

- ・免許番号判定
- ・有効期限判定
- ・顔照合
- ・3点(氏名・生年月日・住所)チェック

等

「LIQUID eKYC」 提供形態①システム提供(ASP)



※特定事業者：金融機関等、ファイナンスリース事業者、クレジットカード事業者、宅地建物取引業者、宝石・貴金属等取扱事業者、郵便物受取サービス業者、電話受付代行業者、電話転送サービス事業者、弁護士・弁護士法人、司法書士・司法書士法人、行政書士・行政書士法人、公認会計士・監査法人、税理士・税理士法人をいいます。

「LIQUID eKYC」 特徴サマリー

犯収法・施行規則改正に対応



規制強化対応として「不正しにくさ」を最優先としつつ、「ユーザー体験の快適さ」と「特定事業者の導入しやすさ」を追求し、「将来性」を考慮した仕組み



【銀行】
・オンライン本人確認
・二要素認証(顔認証)

拡張性



【証券会社】
・オンライン本人確認
・二要素認証(顔認証)

拡張性



【カード発行会社】
・オンライン本人確認
・二要素認証(顔認証)

拡張性



【仮想通貨取引所】
・オンライン本人確認
・二要素認証(顔認証)

拡張性

最高レベルの不正防止策

Webアプリ
(ネイティブアプリレス)

高い顔認証精度
(FAR 1/100,000)

※FAR : 他人受入率

低コスト

「LIQUID eKYC」 特徴詳細

低コスト



転送不要郵便パターン

約585.5円/通



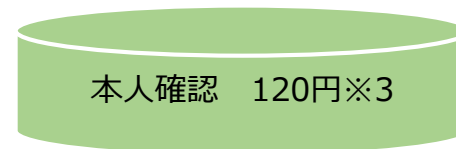
本人限定受取郵便パターン

約655.5円/通



LIQUID eKYCパターン

120円/件



※1 宛名印刷・封入物印刷・封入・封緘・発送手続等。株式会社アレスクリエーションの代行費用参照 <https://www.allescreation.co.jp/printpack/>

※2 本人確認書類の真贋確認・データ入力・入力データチェック・データ照合等

※3 月間5,000件以上の場合の本人確認単価(初期費用は別)。月間の最低本人確認件数により価格は異なる

「LIQUID eKYC」 前提条件



	項目	内容
1	・ 本人確認件数	・ 結果(OK/NG等)を問わず、本人確認した数です。
2	・ 画像データの保管	・ 画像データは「LIQUID eKYC」クラウド上に保管します。 ・ データが増えれば増えるほど精度・性能が向上し、自動化範囲が増えたり、不正検知機能が向上します。 ・ 画像データを別環境に保管する場合、それにかかる費用はご負担お願いします。
3	・ 画像データの検索	・ 当局対応・監査対応で必要な場合に、画像データ・確認記録等を検索できます。
4	・ 通信回線の費用負担	・ 通常のインターネット回線を想定しております。 ・ 特別な回線(例えば、専用線)が必要な場合、費用はご負担お願いします。

「LIQUID eKYC」進め方

項番	項目	内容	担当	備考
1	・ NDA締結		・ 両社	
2	・ 基本合意書締結(検討の合意)	・ Liquid雛形で締結	・ 両社	・ 本契約とは異なる
3	・ プレスリリース		・ 両社	
4	・ デモ確認	・ Applicantデモ確認 ・ Managerデモ確認	・ 導入事業者様	
5	・ 提供形態調整	・ ASP or アウトソーシング	・ 導入事業者様	
6	・ 外部委託チェックリスト確認	・ 導入事業者様雛形を確認	・ Liquid	
7	・ システム連携及び運用フロー調整	・ サービス仕様書、API仕様書等を確認	・ 導入事業者様	
8	・ スケジュール調整		・ 両社	
9	・ 稟議調整	・ 関連予算調整等	・ 導入事業者様	
10	・ 契約書締結		・ 両社	
11	・ プロジェクト開始		・ 両社	
12	・ サービスリリース		・ 導入事業者様	・ プロジェクト開始～サービスリリースまで3ヶ月以上を想定